



2016年04月07日

人・ひと・ヒト! 開催初日から大盛況!

革新技术最新情報を世界に向けて発信する「国際アパレル機器&繊維産業見本市 JIAM 2016 OSAKA」<主催：(一社)日本縫製機械工業会 (JASMA) >が4月6日(水)開幕しました。

初日は天候にも恵まれ、インテックス大阪の受付には開場前から長蛇の列が出来上がっていました。国際色豊かに様々な国・地域から多くの来場者が詰めかけました。2・3・4・5号館の4ホール共に「人・ひと・ヒト」で、様々な言語が飛び交い、国際見本市にふさわしく溢れんばかりの熱気に包まれていました。

■4月6日時点 来場者状況 *速報値

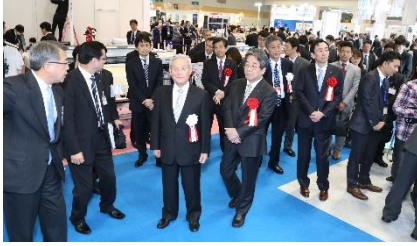
JIAM 2016			
月日	天候	来場者数 (内、海外)	登録者数 (内、海外)
4月6日(水)	晴れ	3,517 (1,308)	3,517 (1,308)
4月7日(木)			
4月8日(金)			
4月9日(土)			
累計		3,517 (1,308)	3,517 (1,308)



初日 9:40 からはインテックス大阪 5号館 Bゾーン「特別セミナー会場」にて開会式を実施。主催者を代表して(一社)日本縫製機械工業会(JASMA) 中村和之会長の挨拶に始まり、ご来賓の経済産業省 製造産業局産業機械 佐脇紀代志課長からご祝辞をいただき、続いて JIAM 2016 近藤章吾実行委員長が「桜咲く4月、繊維の街 ここ大阪から世界に向けて革新的ソリューションを発信する『JIAM 2016』の開会を宣言します!」と力強く開会宣言を行い、ファンファーレと共に華やかに見本市の開催を飾りました。そして、大阪府 新井純副知事、大阪市 田中清剛副市長を含む来賓、主催者、海外友好団体のVDMA(ドイツ)・CSMA(中国)・SPESA(米国)の各代表、特別開催協力・大阪国際経済振興センター、全国ミシン商工業協同組合連合会、アパレル・ファッション産業協会の各代表総勢 11名により、同見本市の成功を祈念してテープカットが行われました。



開会式に続いて、会場巡覧VIPツアーが開催され、各号館に集結した新製品・新技術がいち早く披露されました。会場では終日、革新技术の新製品やサービスの導入を目的とした国内はもとより国際色豊かな業界関係者で埋め尽くされ、真剣に商談する来場者の姿がいたるところで見受けられました。



本見本市では、4日間で合計12本の主催者企画である特別セミナー・パネルディスカッションを、5号館Bゾーンに設置の特別セミナー会場において開催します。初日は経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 佐脇 紀代志氏による「-ロボットとIoTを鍵とした製造業の成長戦略-」、株式会社エヌ・アール・ダブリュージャパン ドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン (NRW) 州経済振興公社 代表取締役社長 ゲオルグ・K・ロエル氏を招いた「-ドイツ Industrie 4.0- 産業界の新たなチャレンジとチャンス：繊維・アパレルビジネス向けイノベーション-」、(一社)日本縫製機械工業会 (JASMA) 専門家 榮 和数氏による「-東アフリカ (エチオピアを中心とした) 縫製業界の最新動向-」の3本を展開。立見席も出るほど多くの受講者が詰めかけ、業界のトレンドや最新の動向に熱心に耳を傾けていました。また、主催者特別企画の「テーマゾーン」では、【先端繊維技術「太陽光発電テキスタイル」】「RFID ファイバー」【繊維シルク 最前線】【J∞QUALITY 最新情報】【未来のファッションプロモーション 4.0】をテーマに繊維素材から完成品までの展示。最先端技術による成果物を実際に手に取りながら、熱心にパネルを読む来場者が多数訪れました。

<本リリースおよび出展に関するお問合せ先>

JIAM デスク (メサゴ・メッセフランクフルト株式会社内)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F TEL: 03-6272-3036 FAX: 03-3262-8442

E-mail: press@jiam-show.com (リリースに関するお問合せ) info@jiam-show.com (出展に関するお問合せ)